

銅賞

私のお弁当

横須賀市立神明中学校三年

高橋 千英里

とんかつと焼き肉と特大シウマイ。お肉たっぷりのわたしのお弁当。
当。

「それ、お父さんが作ってくれるの?!マジで?やばっ。」

「そうだよ。いつもお父さんが作ってくれるんだよ。」

「えー、お弁当って普通お母さんが作るんじゃないの?。」

「いや、だってお母さんいないんだもん。」

「あ、ごめん……。」「たぶん、何らかの事情で母がいないと思っ
た様子」

これらは、私のお弁当はお父さんが作ってくれるんだよと言った時
の友達への反応です。

私のお弁当は父が作ってくれます。そのことを友達に「変わって
いる。」と言われました。私にとっては当たり前のことですが、変わ
っているのでしょうか。

私の父は古風なタイプで、女性が家事全般を担うべきだと考えて
いるが、母はフルタイムで働くため、お弁当や朝ごはん、晩ごはん

の支度から、子供の学校のことなどを母の代わりにやってくれます。授業参観に来るし、集金の用意や提出物などもやってくれます。私の父は周りのお友達がお母さんにやってもらおうことを父がやってくれています。

もちろん母も家事をします。ご飯の仕度や後片付け、洗濯、部屋の片付けや掃除などはもちろん、お父さんが苦手な制服のワイシャツのアイロンがけや取れたボタンをつけてくれたりもします。でも、朝早くに家を出て夜遅くまで働いているのですべてはできません。代わりに父が私と兄の朝ごはんの支度やお弁当作り、夜は買い物をして帰ってきて晩ごはんの支度をしてくれます。私も兄もやらなければと思いつつ何も手伝わず、すべて父にまかせつきりです。

「イクメン」という言葉が流行する前から積極的に家事や育児に関わり、共働きの家庭を成立させている父を、私は尊敬します。母から聞いた話ですが、私や兄が赤ちゃんの頃は、おむつ替えやお風呂、夜泣きした時のミルクを作って飲ませるのも父がしてくれたそうです。外出時に抱っこひもで抱っこしてくれるのも父、ベビーカーを抱えて階段の上り下りをしたのも父だったそうです。お父さんの抱っこひも姿も今となっては普通に見かけるようになりました。

が、当時少なかったためとても目立ったそうです。父が仕事帰りに一歳になったばかりの兄を抱っこひもで抱えて帰宅するときには、周囲の人からとても珍しそうに、時々気の毒そうに声をかけられたそうです。スーツの胸元が鼻水とよだれで汚れても、笑い飛ばして父は兄のお迎えに行ったそうです。

そして父の家事への参加は兄と私の年齢が上がるにつれて踏み込んだものになり、母の単身赴任をきっかけに、朝食、お弁当、夕食の三食を作ることに、部活で汗だくになってくる私たちのために毎日出勤前に洗濯を済ませ、学校からお便りを読んで必要なものや集金をそろえてくれたり、授業参観や家庭訪問、三者面談、行事にも来てくれました。母は父の協力なしでは働きません。また、そんな父にならって夏休みに食事の仕度や洗濯をしてくれる兄も尊敬します。家事は全部女性となったら母も私も倒れてしまいます。

実は私もお弁当を作ったり授業参観に来るのは「普通の家ではお母さんがやること」だと思っていました。なぜなら、お母さんの方が丁寧だし器用だからです。ですから父が何もかもやってくれる今の我が家のスタイルは決して「普通」ではないと思います。父が母や私たち子供のことを思ってもとてもよく頑張ってくれているから、

まるで普通のことのようになってきているのだと思います。

男性の家事や育児の参加は、女性の社会進出を促すために、今とても注目されていて、私はその考え方に賛成しています。働きながら家事や育児をこなすのは大変なことなのですべて女性が担うのではなく、その大変さを男性にも理解してもらおうことが大切だと思います。お弁当はお母さんが作るのが普通だとか、料理は女性がするべきだなど、そういう固定観念ではなく、家族の一員として家族のためにできることをそれぞれがやるというスタイルでいいと思いますし、それが普通になればいいと思っています。将来、結婚して私に子供ができたなら、男の子にも女の子にもそういう風に教えてあげたいです。女の子だから家事をしなさいとか、男性は女性に家事を任せておけばよいとか、性別による役割分担よりも、夫婦がお互いのことを思いやり、家庭や子育てには、二人とも責任を持って取り組めるように育てたいです。

そして私のお弁当は今日もお父さん手作りです。コロッケ、から揚げ、ハンバーグどれも私の好きなおかずばかりです。早起きして作ってくれる父に感謝していただきます。